

## クイックスタートガイド： Fiery proServer for EFI VUTEK

このマニュアルは、EFI Fiery® proServerを設定してEFI VUTEkプリンターで使用する方  
法に関するステップバイステップガイドです。このマニュアルでは、次のトピックを取り  
上げます。

- Fiery proServerにプリンターを接続する
- Fiery XFを起動する (2ページを参照)
- Fiery XFの紹介 (3ページを参照)
- Fiery XFでプリンターを設定する (6ページを参照)
- Fiery XFワークフローを設定する (6ページを参照)
- Fiery XFでジョブを設定する (7ページを参照)
- システム設定をバックアップおよび復元する (10ページを参照)
- 環境をバックアップおよび復元する (11ページを参照)

重 要
-----

このマニュアルの手順を実行する前に、Fiery XFを正しく設定し、ライセンスを取得して  
あることを確認します。『EFI Fiery proServer 設置ガイド』に記載されている指示を参照して  
ください。



## Fiery proServerにネットワークとプリンターを接続する

Fiery proServerには、背面パネルに2つのネットワークコネクタがあります。上側のネットワークコネクタは、Fiery proServerをネットワークに接続するために使用します。下側のネットワークコネクタは、Fiery proServerをプリンターに接続するために使用します。

### ネットワークとプリンターを FIERY PROSERVER に接続するには

- 1 Fiery proServer の背面パネルにある上側のイーサネットコネクタにネットワークケーブルを差し込みます。
- 2 Fiery proServer の背面パネルにある下側のイーサネットコネクタにプリンターケーブルを差し込みます。

#### Fiery proServer の背面パネル

- 1 ネットワークケーブル用イーサネットコネクタ
- 2 プリンターケーブル用イーサネットコネクタ

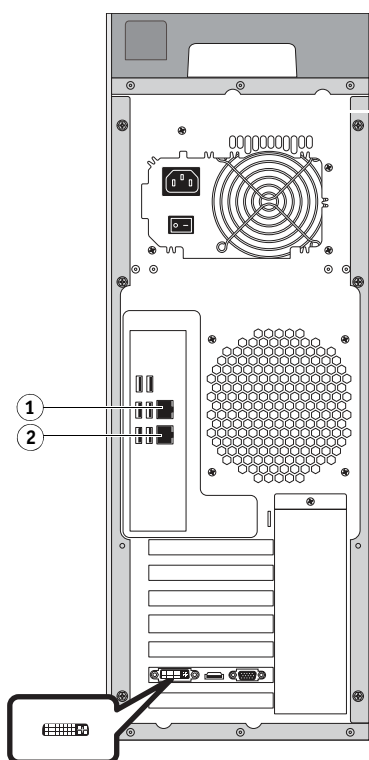


図 1： Fiery proServer の背面パネル

## Fiery XFを起動する

Fiery XFは、Fiery proServerの電源を入れると自動的に起動します。何らかの理由のためにFiery XFを終了した場合は、デスクトップでFiery XF Clientプログラムのアイコンをダブルクリックして、このプログラムを再起動できます。

## Fiery XFの紹介

### インストール

Fiery proServerには、Fiery XFサーバーおよびクライアントがプリインストールされています。しかし、他のコンピューターにFiery XFクライアントをインストールして、Fiery proServerにインストールされているFiery XFサーバーにログオンすることができます。リモートコンピューターにFiery XFソフトウェアDVDを挿入し、画面上の指示に従ってFiery XFをインストールします

---

#### リモートコンピューターから FIERY XF サーバーにログオンするには

- 1 リモートコンピューターで Fiery XF を起動します。
- 2 「ファイル」メニューで「ログイン」をクリックします。
- 3 「ログイン」ダイアログボックスに、ユーザー名とパスワードを入力します。

デフォルトのログイン情報は、次のとおりです。

ログイン：admin

パスワード：admin

- 4 Fiery proServer の IP アドレスを選択します
- 5 「OK」をクリックします。

### Fiery XF を設定する

Fiery proServerの起動後、設定ウィザードを使用して、Fiery XFの初期設定を実行できます。

設定ウィザードの使用中に、「戻る」をクリックして追加の変更を加えるか、「終了」をクリックして設定を保存し、設定ウィザードを閉じることができます。

---

#### FIERY XF を設定するには

- 1 デスクトップのショートカットをダブルクリックして、Fiery XF Client ソフトウェアを開きます。  
設定ウィザードが自動的に起動しない場合は、「システム：設定ウィザード」をクリックします。
- 2 「はじめに」ウィンドウで、「続行」をクリックします。
- 3 「プロダクション」カテゴリから「EFI VUTEK」ワークフローテンプレートの1つを選択します。  
最高品質またはデフォルト品質用として、EFI VUTEK ワークフローテンプレート「Americas」および「EMEA」から選択できます。
- 4 ワークフロータイプとテンプレートを選択して、新しいワークフローを作成します。  
各ワークフロータイプに対して説明が提供されます。
- 5 出力デバイスを設定します。「EFI VUTEK」とEFI VUTEK プリンターモードを選択します。

## 6 ワークフロー設定をエクスポートします。

設定をエクスポートするには、「エクスポートパス」または「JDF ポート経由で印刷」を選択します。

古い EFI VUTEk プリンターは、「エクスポートパス」のみをサポートしています。印刷の準備ができた RTL ファイルが、定義フォルダーに配置されます。次に、RTL ファイルを VUTEk Print Station に手動でインポートできます。プリンターモデルが「JDF ポート経由で印刷」をサポートしている場合は、EFI VUTEk プリンターの IP アドレスを定義できます。RTL ファイルは、VUTEk Print Station に自動的にアップロードされ、ジョブキューに表示されます。この接続タイプは、統合ワークフローでも要求されます。このワークフローでは、すべての EFI 製品が、JDF を通じて相互に通信します。

## 7 設定ウィザードを終了します。

### プログラムウィンドウ

System Manager で、ワークフロー設定を定義し、プリンターを設定します。ワークフロー設定には、カラーマネージメント、シート上でジョブを配置する方法などが含まれることがあります。デフォルトで、ワークフロー設定は、Job Explorer でロードするすべてのジョブに適用されます。

Job Explorer で、ジョブをインポートし、印刷します。必要に応じて、個々のジョブにジョブ設定を適用できます。ジョブ設定は、ワークフロー設定よりも優先されます。

### システム環境

システム環境は、ワークフローと出力デバイスから構成されます。

システム環境をロードするには、System Manager にシステム環境ファイルをインポートするか、設定ウィザードを使用して新しいシステム環境を作成します。

更新されたシステム環境を利用できるかどうかを確認するには、Windows タスクバーで Fiery XF Control アイコンを右クリックしてから、「Fiery XF オンラインアップデート」をクリックします。Fiery XF Control アイコンは、タスクバーのステータス領域にあります。Fiery XF Control アイコンが表示されていない場合は、上向き矢印をクリックして非表示のアイコンを表示し、非表示のアイコン領域からステータス領域に Fiery XF Control アイコンをドラッグします。

「Updater」ダイアログボックスで、「次へ」をクリックし、利用可能なアップデートのリストをスクロールします。システム環境を利用できる場合は、バージョン番号をデスクトップ上のシステム環境のバージョン番号と比較します。Web サイトから最新のシステム環境をダウンロードします。

---

### 新しいシステム環境をロードするには

- 1 **System Manager** で、「ファイル：環境をインポート」をクリックします。
- 2 「選択」をクリックして、デスクトップ上にある環境フォルダーを開きます。
- 3 システム環境を選択し、「開く」をクリックします。
- 4 「OK」をクリックし、「環境をインポート」ダイアログボックスを閉じます。次に、「OK」をクリックして、メッセージボックスを閉じます。

システム環境が Fiery XF にインポートされます。

- 5 「ファイル」メニューで「終了」をクリックして、**Fiery XF** を閉じます。
- 6 **Windows** タスクバーで、**Fiery XF Control** アイコンをクリックしてから、「**Fiery XF** サーバの再起動」をクリックします。確認のダイアログが表示されたら、コンピューターへの変更を「**EFI\_XF\_Control**」に許可します。

Fiery XF サーバーが起動するまで待ちます。

Fiery XF Control アイコンが緑になっている場合、Fiery XF サーバーは実行されています。

- 7 デスクトップで、**Fiery XF Client** プログラムのアイコンをダブルクリックします。

新しいシステム環境がロードされます。固有なニーズに合わせて新しいワークフローを設定します。

重複する出力デバイスは削除できます。「レイアウト」領域で、出力デバイス上の緑の矢印をクリックして、赤いボックスに変更します。次に、出力デバイスを右クリックし、「出力デバイスの削除」をクリックします。

### システム設定

システム設定では、次のことを定義します。

- 各ワークフローに対するユーザーアクセス。
- ワークフローに送信されるすべてのジョブに適用されるワークフロー設定。
- プリンター設定。

デフォルトのシステム設定は、2人のユーザー、2つのワークフロー、および2つの出力デバイスから構成されます。

- ユーザー

Fiery XF には、2人のデフォルトユーザーが設定されます。ユーザー「admin」（パスワード：admin）は、System Manager でシステム環境の作成、設定、および管理を行い、Job Explorer でジョブを印刷し、管理することができます。ユーザー「guest」（パスワード：guest）は、Job Explorer で印刷ジョブを印刷し、管理できますが、System Manager へのアクセス権は持ちません。

- ワークフロー

ワークフローは、標準設定で設定されます。たとえば、すべてのジョブは元のサイズと方向で出力されます。独自の固有な要件に合わせて、ワークフローをカスタマイズできます。

- 出力デバイス

System Manager で、ワークフローと出力デバイスは、黒い線で目に見えるよう接続する必要があります。レイアウト領域で、1つのオブジェクトを別のオブジェクトに接続するには、1つのオブジェクト（ワークフローなど）のマージン領域から2番目のオブジェクト（出力デバイスなど）に対してドラッグします。必ずマージン領域からドラッグしてください。中心からドラッグした場合、オブジェクトが表示される順序が再配置されます。



System Manager ワークスペースで必要のないタブとペインの配置をカスタマイズすることもできます。詳細については、Fiery XF オンラインヘルプを参照してください。

## Fiery XFでプリンターを設定する

Fiery XFがまだ起動していない場合は、デスクトップでFiery XF Clientプログラムのアイコンをダブルクリックします。

### FIERY XFでプリンターを設定するには

- 1 ツールバーで、**System Manager** をクリックしてから、**EFI VUTEk 出力デバイス** をクリックします。
- 2 「デバイス」タブのプロパティインスペクタで「接続」ペインを開き、**EFI VUTEk Print Station** に手動でインポートするために、IP アドレス（JDF ポート経由で印刷）またはRTLの「エクスポート」フォルダーを入力します。
- 3 「テスト」をクリックして、**VUTEk Print Station**（EFI VUTEk プリンターのフロントエンド）への接続が適切に確立されていることを確認します。  
接続をテストするには、プリンターの電源が入っている必要があります。
- 4 Windows タスクバーのステータス領域で **Fiery XF Control** を右クリックし、「**Fiery XF サーバの再起動**」をクリックして Fiery XF を再起動します。

## Fiery XFワークフローを設定する

### ホットフォルダーを設定するには

- 1 ツールバーで、**System Manager** をクリックし、ワークフローの左側にある緑の矢印をクリックしてオフラインでワークフローを設定します。  
緑の矢印が、赤いボックスに変わります。赤いボックスは、ワークフローが中断されたことを示しています。
- 2 「入力」タブで、「一般」ペインを開きます。
- 3 ホットフォルダーを参照します。

- 4 赤いボックスをクリックして、ワークフローをオンラインに戻します。  
これで、ワークフローはホットフォルダーを監視するようになります。
- 5 ツールバーで「保存」をクリックします。

---

#### ワークフローをコピーするには

現在のワークフローを失わずに、ワークフロー設定を変更できます。

- 1 System Manager で、ワークフローをクリックします。
- 2 Ctrl + C キーを押して、ワークフローをクリップボードにコピーします。
- 3 Ctrl + V キーを押して、ワークフローのコピーを挿入します。
- 4 必要に応じてワークフローを設定します。

## Fiery XFでジョブを設定する

デフォルトでは、ジョブはワークフローに対する設定を使用して印刷されます。ただし、ロードされたジョブに対してジョブ固有の設定を適用することにより、ワークフロー設定よりも優先させることができます。次の手順では、ジョブをロードし、基本的なジョブ設定を行う方法の例を示します。ジョブを設定するには、ジョブリストでジョブをクリックする必要があります。

---

#### ジョブを設定するには

- 1 ツールバーで「Job Explorer」をクリックします。
- 2 ツールバーで、「ジョブのインポート」をクリックします。
- 3 ジョブを参照し、「開く」をクリックします。
- 4 「インポート先」ダイアログボックスで、「ジョブの保持」をクリックします。  
保持されたジョブは、Fiery XF ですぐには処理されません。ジョブを設定した後に、ジョブの処理を手動で開始できます。
- 5 ジョブを回転するには「プレビュー」ウィンドウで、プレビューを右クリックし、「回転」をポイントして、項目をクリックします。
- 6 ジョブを拡大縮小するには「プレビュー」ウィンドウで、プレビューを右クリックし、「拡大縮小」をポイントし、「適応先」をポイントしてから、「シートの幅」をクリックします。
- 7 シート上でジョブを位置揃えするには「レイアウト」タブで、「レイアウトオプション」ペインを開きます。図の適切なセルをクリックして、位置揃えを選択します。必要に応じて、ジョブマージンを定義します。

- 8 異なる印刷構成セットを選択するには「出力」タブで、「メディア設定」ペインを開きます。「メディア設定」で、メディア構成セットを選択します。

メディア構成セットとは、EPL リニアリゼーションファイル、ICC プロファイルおよびスクリーニングファイルの組み合わせです。Fiery XF には、EFI VUTEk メディアに対してさまざまなメディア構成セットが用意されています。

出力デバイスのコピーを作成し、各コピーに対してさまざまなデフォルトの印刷構成セットを選択できます。これは、特定のメディアに対してホットフォルダーを明示的に設定した場合に役立つことがあります。

- 9 カラーマネージメント設定をレビューするには「カラー」タブで、「カラーマネージメント」ペインを開きます。

チェックボックス「ダイナミックレンダリングインテント」が選択されています。これは、ジョブカラーがメディアプロファイルのカラーと比較されることを示します。範囲外カラーの比率に応じて、イメージデータができる限り最適に再現されるように、各ジョブに対して最適なレンダリングインテントが自動的に適用されます。

カラー最適化設定「インクジェットの黒色と同様の黒色」は、「95-100%」に設定できます。つまり、インクの範囲が 95% ~ 100% の間で、(カラーマネージメント前に) 黒のみのインクの領域は、カラーマネージメント後に黒のみとして印刷されます。この設定は、情報が黒いフォントを使用している場合、またはジョブに非常に細かい輪郭が含まれる場合に、非常に役立ちます。

- 10 フッターを変更または削除するには「レイアウト」タブで、「フッター」ペインを開きます。

- 11 複数のジョブをネスティングするには ジョブをインポートします。Ctrl キーを押したまま、ジョブリストのジョブをクリックします。次に、ツールバーで「ネスティングの作成」をクリックします。

たとえば、統一的なページの拡大縮小を適用し、ページの方向を選択し、ネスティングされるページ間の空白の量を定義できます。「レイアウト」タブで、「ネスティング」ペインを開きます。設定を完了したら、「適用」をクリックしてプレビューを更新します。

シート上でネスティングを位置揃えする方法を定義できます。「レイアウト」タブで、「ジョブレイアウト」ペインを開きます。図の適切なセルをクリックして、位置揃えを選択します。

- 12 ジョブをタイリングするには ジョブをインポートします。「レイアウト」タブで、「タイリング」ペインを開きます。

タイルサイズ、重複マージン、および重複マークなどを定義できます。

ジョブからタイルを除外することができます。たとえばウォールタイリングのドア領域を除外します。選択したタイルのみを処理し、印刷することもできます (すべての他のタイルはジョブから除外されます)。「プレビュー」ウィンドウで、タイルを右クリックし、適切な項目をクリックします。



- 13 スポットカラーをレビューまたは変更するには「カラー」タブで、「スポットカラー」ペインを開きます。

スポットカラー定義を変更できます。表の「マップ先」列で、異なるスポットカラーを選択します。ツールバーで「保存」をクリックします。設定に従ってプレビューが更新されます。

各スポットカラーに対して、プリンターに送信される CMYK インクの組み合わせをレビューできます。表の「ソース」列で「インクジェット」を選択すると、CMYK 値でスポットカラーが表示されます。これらの値は変更できます。ツールバーで「保存」をクリックします。設定に従ってプレビューが更新されます。

- 14 FOTOBA デバイスがある場合に、自動的にジョブをカットするには

「仕上げ」タブで、「マーク」ペインを開き、「クロップマーク」をクリックします。次に、FOTOBA XL クロップマークを選択します。FOTOBA カッターに対して適切な FOTOBA クロップマークを選択します。

- 15 追加のデバイスでジョブをカットするには set up i-Cut cutter, Zünd Cut Center, またはサポートされる印刷およびカットデバイス

System Manager の「レイアウト」領域で、ワークフローをクリックします。「仕上げ」タブで、「カット」ペインを開きます。ペインバーで、カッター設定をアクティブ化するチェックボックスを選択してから、選択したカッターのメーカーとデバイスでカッターデバイスを設定します。

- 16 ツールバーで「保存」をクリックします。

これで、ジョブを処理し、印刷することができるようになります。

- 17 ツールバーで「印刷」をクリックします。

#### FIERY XF でサードパーティの印刷メディアプロファイルを実装するには

- 1 ツールバーで「カラーツール」をクリックします。
- 2 「プロファイルコネクター」をクリックします。
- 3 「プリンターリニアリゼーション」で、「選択」をクリックし、EPL リニアリゼーションファイルを参照します。
- 4 印刷メディアの名前を入力します。  
これは、Fiery XF に表示される名前です
- 5 「プロファイルへの接続」で、「印刷メディアプロファイル」チェックボックスをクリックします。次に「選択」をクリックし、サードパーティの印刷メディアプロファイルを参照して、「開く」をクリックします。
- 6 「OK」をクリックします。

これで、Fiery XF でプロファイルを選択できるようになります。

---

### FIERY XF でプロファイルを選択するには

プロファイルが作成されている場合は、ワークフローに対してそのプロファイルを選択できます。

- 1 **System Manager** で、**EFI VUTEk 出力デバイス**をクリックします。
- 2 「デバイス」タブで、「印刷設定」ペインを開きます。
- 3 「印刷メディア設定」で、**EPL リニアリゼーションファイル**の作成時に定義した印刷メディア名を選択します。

## システム設定をバックアップおよび復元する

システム設定のバックアップによって、次の設定が保存されます。

- Fiery XF サーバー設定
- すべてのユーザー設定
- すべてのワークフロー設定（選択したプリセット、EPL リニアリゼーションファイル、スポットカラーテーブル、およびプロファイルなど）
- プリンター設定

---

### システム設定をバックアップするには

- 1 **System Manager** の「ファイル」メニューで「バックアップ」をクリックします。

「Fiery XF バックアップ」ダイアログボックスが開きます。

- 2 バックアップする項目のチェックボックスを選択します。

サーバー設定は、デフォルトで保存されます。

- 3 バックアップ場所を定義します。

システム設定のバックアップは、「Backup」フォルダーとデスクトップの2つの場所に保存されます。2番目のバックアップ先を変更するには、「選択」をクリックし、新しい場所を参照します。

- 4 「保存」をクリックします。

バックアップが正常に完了すると、ダイアログボックスが表示されます。

- 5 「OK」をクリックして、バックアップ手順を完了します。

---

### システム設定を復元するには

- 1 **System Manager** の「ファイル」メニューで「復元」をクリックします。

- 2 バックアップファイルを参照します。

- 3 「OK」をクリックします。

復元が正常に完了すると、ダイアログが表示されます。

- 4 「OK」をクリックします。

- 5 復元されたシステム設定を表示するには、Fiery XF サーバーを再起動します。

## 環境をバックアップおよび復元する

環境のバックアップによって、次の設定が保存されます。

- すべてのワークフロー設定（選択したプロファイル、EPL リニアリゼーションファイル、およびスポットカラーテーブルなど）
- プリンター設定（ポート設定を除く）

---

### 環境をバックアップするには

ワークフローまたはジョブの環境を保存できます。

- 1 「ファイル」メニューで「環境として保存」をクリックします。

「環境として保存」ダイアログボックスが開きます。

- 2 バックアップ場所を定義します。

環境のバックアップは、「Environments」フォルダーとデスクトップの2つの場所に保存されます。2番目のバックアップ先を変更するには、「選択」をクリックし、新しいバックアップ先を参照します。

- 3 「保存」をクリックします。

バックアップが正常に完了すると、ダイアログボックスが表示されます。

- 4 「OK」をクリックして、バックアップ手順を完了します。

---

### 環境を復元するには

環境は、System Manager にのみ復元できます

- 1 「ファイル」メニューで「環境をインポート」をクリックします。

- 2 バックアップファイルを参照します。

- 3 必要に応じて、「上書きを許可」を選択します。

このチェックボックスを選択した場合、一意の名前のファイルのみが復元されます。選択しない場合は、同じ名前のすべての既存のファイルが上書きされます。

- 4 「OK」をクリックします。

復元が正常に完了すると、ダイアログが表示されます。

- 5 「OK」をクリックします。